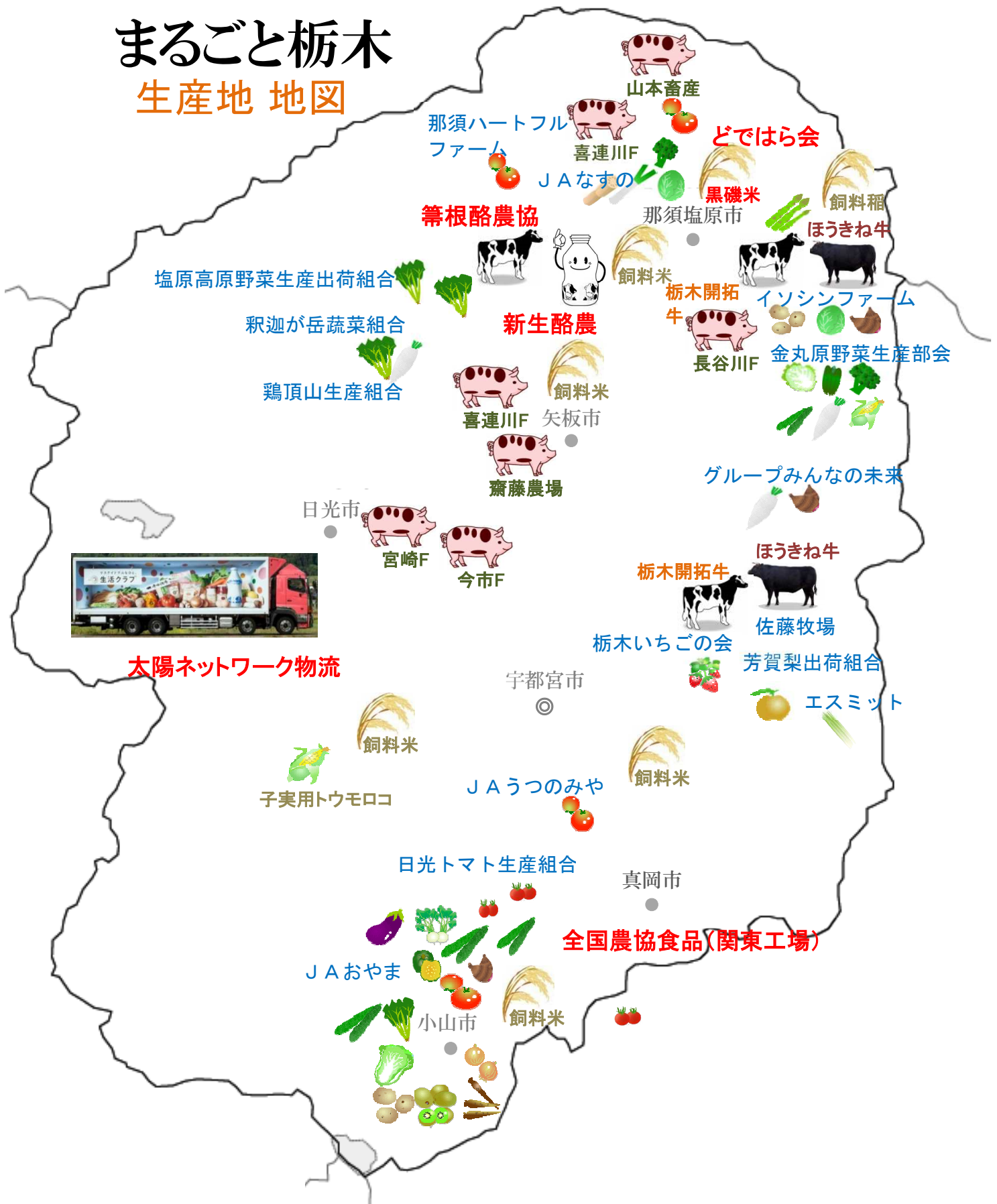


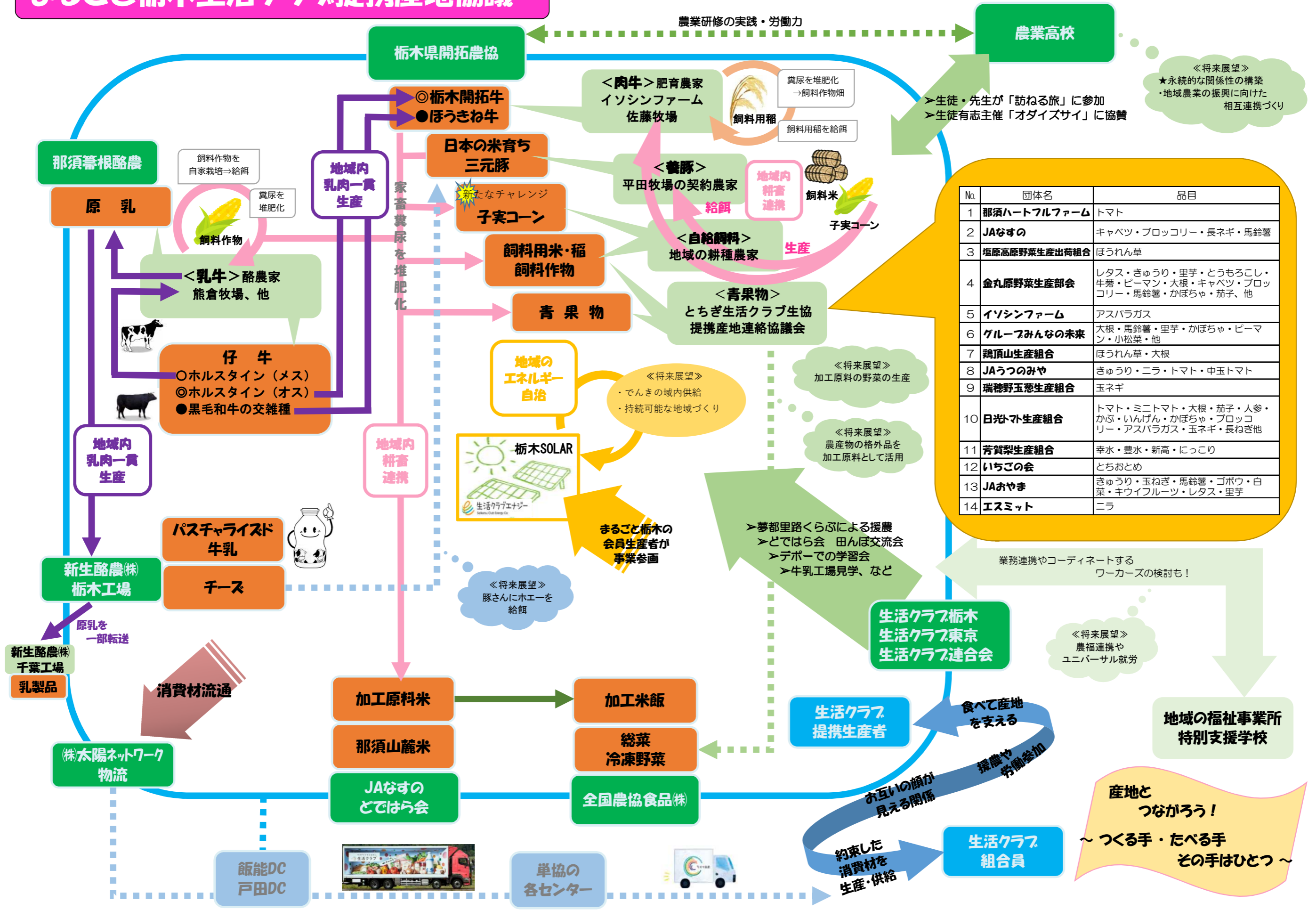
事業概要	栃木県の持続可能な発展に向け、生活クラブ生活協同組合と提携する生産者の連携により、地域資源の活用を進め、食料、エネルギー、福祉の自給圏づくりを中心としてローカルSDGsの推進を図る	
部署	栃木県開拓農業協同組合 農畜産部	
所在地	〒325-0057 栃木県那須塩原市黒磯幸町3-9	
連絡先	(電話番号)0287-62-0274 (E-mail)m.kamiyama@t-kaitaku.jp	
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<p>栃木県は明治、戦後の開拓事業により農畜産物の生産やそれらを原料とした食品加工が盛んな地域です。その農畜産業や食品加工事業が、気候危機の深刻化や従事者の高齢化により持続的な事業の困難性が増しています。耕畜連携による自給飼料の拡大を通じた畜産物の安定生産や耕地面積の維持を図ります。また、地域で生産された農畜産物を活用した食品加工や再生可能エネルギーの発電事業を通じ、持続可能な地域づくりを目指した担い手の創出と新たな事業及び雇用の創出を図ります。</p> <p>これらの次世代に繋がる取り組みで地域内の関係者が広く繋がり、持続可能な社会の構築を目指します。</p>	
ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	分野	脱炭素／農林水産業・地場産品／健康・福祉
	URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域内連携による自給飼料(飼料用米の作付け拡大、飼料用米のタンパク値向上による輸入大豆カス依存の軽減、子実トウモロコシの生産、堆肥等副産物の活用)の給餌拡大。</li> <li>加工食品原料の生産と活用</li> <li>太陽光発電と売電益の活用による地域振興</li> <li>行政と連携した農畜産業と福祉事業の推進</li> </ul> <p>生活クラブソーラー栃木発電所 <a href="https://scenergy.co.jp/news/producer/1370">https://scenergy.co.jp/news/producer/1370</a> まるごと栃木「生産者を訪ねる旅」 2019年度 <a href="https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000000427">https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000000427</a> 2021年度(オンライン開催) <a href="https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000001544">https://seikatsuclub.coop/news/detail.html?NTC=1000001544</a></p>
上記ソリューションを提供できる地域について	全国(生産物の利用として)、栃木県	

<b>自者の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活クラブと栃木県内の生産者は、米、牛乳・乳製品、園芸品、冷凍米飯などの加工食品の提携による産直事業を展開してきました。</li><li>さらに地域JAとの連携で、タンパク値を高めた飼料用米や子実トウモロコシの生産にもチャレンジしています。</li><li>地域の伝統的な食品の持続的生産に向けた生産者連携や、地域資源を活用した食品開発など、生産者間の連携で事業創出、雇用創出、再生エネルギーの拡大、自給力向上に取り組んでいきます。</li></ul>
<b>SDGs経営に向けた自者の課題や悩み</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>事業者の高齢化や従業員不足、原料資材の高騰により持続的な生産が難しくなっている。</li><li>主たる生産物である水稻の価格低迷、畜産物の飼料高騰や疾病、気候危機の深刻化により生産が不安定になっている。</li><li>行政との連携のための協議会の実現</li></ul>

# まるごと栃木 生産地 地図



# まるごと栃木生活クラブ提携産地協議



No.	団体名	品目
1	那須ハートフルファーム	トマト
2	JAなすの	キャベツ・ブロッコリー・長ネギ・馬鈴薯
3	塩原高原野菜生産出荷組合	ほうれん草
4	金丸原野菜生産部会	レタス・きゅうり・里芋・とうもろこし・牛蒡・ピーマン・大根・キャベツ・ブロッコリー・馬鈴薯・かぼちゃ・茄子、他
5	イソシンファーム	アスパラガス
6	グループみんなの未来	大根・馬鈴薯・里芋・かぼちゃ・ピーマン・小松菜・他
7	鶏頂山生産組合	ほうれん草・大根
8	JAうつのみや	きゅうり・ニラ・トマト・中玉トマト
9	瑞穂野玉葱生産組合	玉ネギ
10	日光トマト生産組合	トマト・ミニトマト・大根・茄子・人参・かぶ・いんげん・かぼちゃ・ブロッコリー・アスパラガス・玉ネギ・長ねぎ他
11	芳賀梨生産組合	幸水・豊水・新高・にっこり
12	いちごの会	とちおとめ
13	JAおやま	きゅうり・玉ねぎ・馬鈴薯・ゴボウ・白菜・キウイフルーツ・レタス・里芋
14	エスミット	ニラ

## まるごと栃木これまでの歩みとこれからの取組み課題

### <あゆみ>

2007年 栃木循環型農業推進会議準備会設立  
耕畜連携、飼料用米の取り組みなどについて意見交換

2008年 まるごと栃木生活クラブ提携産地協議会設立  
参加団体

生活クラブ・東京 生活クラブ・栃木  
どではら会 JAなすの 全農栃木 新生酪農  
箒根酪農 栃木県開拓農協 那須塩原市  
第1回まるごと栃木祭り開催（那須塩原市）

飼料用米、飼料用稲の作付け開始

2009年 第2回まるごと栃木祭り（宇都宮市ろまんちっく村）開催



2010年 九州を中心に BSE 発生 まつり、視察受け入れ自粛

2011年 東日本大震災

2012年 放射能検査開始 さよなら原発栃木 action 参加

2013年 GMO フリーゾーン全国交流集会にむけて 県内各地で学習会、上映会開催

2014年 第14回 GMO フリーゾーン全国交流集会をまるごと栃木が中心となって運営

2015年 生活クラブソーラー栃木 発電開始



2016年 FEC 自給圏学習会開催

食と農の地域連携、再生可能エネルギー、ユニバーサル農業について学ぶ

2017年 まるごと栃木 10周年まつり 開催

2018年 交流部会 福祉部会 エネルギー部会 生産部会など 部会活動の活性化



2019年 まるごと栃木生産者を訪ねる旅に那須拓陽高校の学生が参加

2020年 福祉部会「あきる野農園」視察 エネルギー部会「ソーラーシェアリング」視察

2021年 ローカル SDGs 学習会開催

オンライン版まるごと生産者を訪ねる旅を開催

栃木県立那須拓陽高校※SOY プロジェクト※主催オダイズサイに出店

2022年 子実用トウモロコシの栽培を始める

※那須拓陽高等学校の生物工学科と食物文化科の生徒と職員が中心となり、在来種などの大豆の栽培や味噌造り、醤油造りなどに取り組んでいます。

## <これからの取組課題> ローカルSDGsを活動の柱として

- ① 耕畜連携・循環型農業の推進  
飼料用米・飼料用稲の取組 畜産堆肥の利用
- ② 再生可能エネルギー創出に向けた活動  
ソーラーシェアリング バイオマスエネルギーの検討  
栃木SOLARの売電収益の地域活用の検討
- ③ 農福連携に向けた活動
- ④ 子ども食堂や学校給食など地域との連携
- ⑤ まるごと栃木での消費材開発
- ⑥ 産地の空き家活用の検討
- ⑦ GMO フリーゾーン活動の推進 など